

平成28年熊本地震の被害状況及び対応について
(5月16日 12:00時点)

1. 被害状況

○林野関係被害 (現在調査中)

- ・ 林地被害 (被害箇所数400箇所 被害額311.8億円)
熊本県372箇所 福岡県 1 箇所
佐賀県 1 箇所 長崎県 5 箇所
大分県19箇所 宮崎県 2 箇所 を確認済。
- ・ 治山施設 (被害箇所数36箇所 被害額26.6億円)
熊本県31箇所 大分県 5 箇所 を確認済。
- ・ 林道関係 (被害箇所数1,632箇所 被害額10.0億円)
熊本県112路線 佐賀県 1 路線
大分県10路線 宮崎県18路線 を確認済。
- ・ 木材加工施設等 (被害箇所数21箇所 被害額7.3億円)
熊本県17箇所 福岡県 3 箇所
大分県 1 箇所 を確認済。

2. 対応状況

○4月19、20日、林野庁、九州森林管理局、熊本県庁及び森林総合研究所の専門家が合同で阿蘇市、南阿蘇村(みなみあそむら)の大規模崩壊地を調査した。

○4月22日、林野庁、熊本県庁が合同で南阿蘇村長野(ながの)、河陽(かわよう)を現地調査した。

○4月25日から、九州森林管理局森林土木技術職員2名を現地調査の協力のため熊本県へ派遣継続中。

○4月27日から、罹災証明手続きの支援のため、九州森林管理局職員4名を合志市(こうしし)へ派遣継続中。

○5月10日から、林道施設災害復旧に向けた現地指導のため、林野庁担当官1名を被害市町村に派遣(12日まで)

○林野関係団体による自主的な支援活動が継続中。